

論理的多元主義は「なんでもあり」か

山森真衣子 (Maiko Yamamori)

東京大学総合文化研究科 (JSPS 特別研究員)

論理的多元主義 (logical pluralism) は、端的に言うと、「正しい論理は複数ある」と考える哲学的立場である。すなわち、世の中には無数の論理体系が存在するが、そのうちの複数の体系が「正しい論理体系」と冠されるべきものであると考える立場である。この立場と対立する立場 (の一つ) は「論理的単元主義 (logical monism)」と呼ばれる立場だ。これは、複数の論理体系が存在すること自体は認めるものの、そのうちの特定の一つだけが「正しい論理」、「the logic」と呼ばれるに値する論理だと考える立場 (例えば「古典論理だけが正しい論理である」「直観主義論理だけが正しい論理である」と考える立場) である。なお、注意されたいが、論理的多元主義は「ある論理体系 A も正しく、A の拡張としての論理体系 B 論理も正しい (例えば「古典論理も正しく、古典論理の拡張としての様相論理も正しい)」ということのみを受け入れる立場ではない。そうではなく、論理体系 A と B が対立するような場合 (対立するように見える場合) であっても——A で妥当になる推論が B では非妥当となる場合であっても——「A と B の両方とも正しいということがありうる」と考える立場である。

伝統的に多くの哲学者は論理的単元主義を支持していた。それと比べて論理的多元主義は、20世紀初頭にはすでに H. MacColl によって主張されていた立場にもかかわらず、採用する人はあまり目立たなかった。だが、JC Beall と G. Restall による論理的多元主義の研究が21世紀初頭に出されて以来、論理学の哲学では論理的多元主義はホットピックの一つとなり、この立場を採用する人もどんどん増加している。

本発表は、この論理的多元主義が「なんでもあり (anything goes)」の立場なのか否かを検討する。すなわち、論理的多元主義者は複数の論理体系を「正しい論理体系」として受け入れるが、その「正しい論理体系」に制限はあるのか・あるべきなのか、それとも「なんでもあり」なのか・「なんでもあり」であるべきなのかを検討することが本発表の目的である。この問いへのアプローチの仕方には様々があるだろうが、本発表では特に「論理体系の性質」に着目する。すなわち、論理的多元主義を採用する論者が「正しい論理体系が満たすべき性質」なるものがあると考えているのかを確認し、また、論理的多元主義を採用する場合「正しい論理体系が満たすべき性質」なるものがあると考えべきなのかを検討する。

上述の問いを扱うために、本発表ではまず、そもそも論理的多元主義はどのような立場か・どのような立場でないかを整理したい。論理的多元主義は「複数の論理体系が正しい」と考える立場であるが、複数の論理体系を認めるという観点で言えば、「論理的相対主義 (logical relativism)」や「論理道具主義 (logical instrumentalism)」と呼ばれる立場もそれに当てはまると言えるため、論理的多元主義はそれらの立場と混同されることも少なくない。さらに、「論理的相対主義」「論理道具主義」という言葉で意味され

る立場が論者によって異なるという事実も、事態をさらにややこしくしている。結果として、「(論理的相対主義や論理道具主義と異なる) 論理的多元主義」がどのような立場であるかがわかりにくくなっているのが現状だ。そこで本発表ではまず、論理的多元主義や論理的相対主義、論理道具主義はどのように特徴付けられるのか、どのように異なるのかの整理を試みる。それによって、本発表で扱う「論理的多元主義」という立場が何を指すかを明確にする。

次に、論理的多元主義は「複数の論理体系が正しい」と考える立場であるが、そこでの「正しい」とは何を意味するかを整理する。私の考えでは、代表的な論理的多元主義の議論の多くで、「正しい論理」を定式化する際には以下の三つのいずれかの考えがベースにあると言える(以下の三つの考えはそれぞれ排他的な関係にあるわけではないので、複数の考えがベースになっていることもある)。第一には「正しい論理とはなんらかの事態のあり方を正しく表現しているものである」という考えであり、第二には「正しい論理とは自然言語を正しく表現しているものである」という考えであり、第三には「正しい論理とは便利な論理である」という考えだ。代表的な論理的多元主義の立場がそれぞれどの考えをベースにしているかを見ていく。その上で、この三つの考えを受け入れている(と思われる)それぞれの論者たちが、「正しい論理体系が満たすべき性質」の存在を認めているか、どのような議論をもってそのように主張しているのかを確認する。

最後に、「正しい論理は存在しない」という「論理的虚無主義(logical nihilism)」の議論を援用しながら、本発表の問い、「論理的多元主義者は『正しい論理体系が満たすべき性質』なるものが存在すると考えるべきなのか」という問いに応えたい。